

あなた方は私を何者だというのか

私たちは、人間として自分のことについて、ちょっと立ち止まって考えたことがありますか？私、本当は誰ですか？なぜ私は生まれたのか？他人は私のことをどう思っていますか？今日の福音書の朗読では、イエス様もこの質問をお尋ねになった。自分自身を知ることは、人間性の一部であるだけではありません。実際、私たちが霊的に成長するために必ず答えなければならない必要な質問なのです。

自分が何者であるかを知ることは、自分の価値を高めるためのうぬぼれではなく、自分の本質を正しく理解し、この世で自分の使命や役割を自覚するために必要なことだと思います。イエスがペトロから「あなたはメシアです」と答えるように、私たちも自分の本性が霊的なものであり、神の息子や娘であることを理解してもらう必要があります。

私たちが神に愛されていることを知る一方で、自分を罪人として自覚してほしい。私たちの誇りと罪で、神様の愛を裏切ってしまいました。しかし、神様は私たちが罪人であっても見捨てることなく愛し続けています。具体的に、神様が自分の愛する子、つまり油を注がれたイエス・キリストを私たちの救いのために送ってくださったのです。

ペトロのように、イエス様は私たちの罪から解放してくださるメシアと認めることができますように、また、イエス様の死と復活を述べ伝えて、聖霊の導きで力強く毎日の生活の中で伝え続けることが出来ますように願いましょう。

ウィル神父